



PASS X 150.8 PASS X 350.8

Class AB Stereo Power Amplifier

特許 (1997 年) Super Symmetric™ 回路トポロジーを採用している クラス A の XA .8 (ポイント 8) シリーズと **クラス AB の X.8 (ポイント 8) シリーズ** は、Pass Labs. の主力パワーアンプです。

Super Symmetric™ 回路のトポロジーは、2 つのバランスアンプの各半分の特性を高精度でマッチングさせることでバランスアンプの性能を飛躍的に向上させます。通常のマッチング技術に比べ、スーパーシンメトリー技術では歪みとノイズ成分をもう一桁小さくできます。

2003 年～ 2004 年発表の前作 XA .5&X .5 シリーズ以来 PASS Labs は、次に何が出来るかを研究し続けてきました。2013 年発表のフラッグシップの Xs シリーズは、.5 シリーズの成功にインスパイアされ開発・製品化されました。その Xs シリーズの開発で得られた技術・ノウハウが、.8 (ポイント 8) シリーズとして結実しています。

現在 PASS Labs. は、合計 11 機種のパワーアンプをラインナップしています。

.8 クラス A パワーアンプ

XA 30.8 (ステレオ)
XA 60.8 (モノラル)
XA 100.8 (モノラル)
XA 160.8 (モノラル)
XA 200.8 (モノラル)

.8 クラス AB パワーアンプ

X 150.8 (ステレオ)
X 250.8 (ステレオ)
X 260.8 (モノラル)
X 350.8 (ステレオ)
X 600.8 (モノラル)

XA シリーズ

XA25

クラス A の XA .8 (ポイント 8) シリーズは、2014 年に日本市場にデビューし PASS 伝統の暖かさと高解像度を併せ持ったサウンドでオーディオファイルに支持され続けています。

この度、新たにクラス AB の X.8 シリーズを低能率で扱いにくいスピーカーをドライブする為、またより大出力パワーアンプを求めるオーディオファイルの声に答える形で日本市場において発売いたします。

PASS Labs. は、小出力でシンプルなクラス A 回路の素晴らしさを認識しています。特にスピーカーが高効率で音楽ソースがそれほど複雑でなければその素晴らしさを実感できます。そのコンセプトは、ネルソン・パスによる "First Watt" ブランドで実証されました。

今回発売する X .8 シリーズは、小出力でシンプルなクラス A 回路の良さを兼ね備えつつ大出力と精緻さを併せ持ったパワーアンプです。少ないステージ構成に、多くのハードウェアを投入し、少ないフィードバックで少ない歪みを実現しています。さらにそれらの複雑に絡み合う要素を各モデル個別に調整して、最終的に音楽性を追求したハーモニーを生み出します。

新設計の出力ステージは、PASS Labs. フラッグシップの Xs シリーズの開発で得られた技術・ノウハウを投入しています。それは、バイアス電流を増加しより広いクラス A 動作領域の確保につながっています。それに伴いヒートシンクも大型化されています。ヒートシンクを含め若干大きくなったシャーシがより大きなクラス A バイアス電流の証です。

X 150.8 のクラス A 動作領域は 15W (ピーク)、X 350.8 は 35W (ピーク) までクラス A で動作します。

前作 X150.5 のクラス A 動作領域は 10W (ピーク)、X350.5 は、30W (ピーク)

その結果。通常のリスニングレベルではクラス A の高品位な再生を実現します。大出力が必要な場合は、型番が示す通り X 150.8 が最大 150W+150W、X 350.8 が最大 350W+350W を誇り余裕を持ってスピーカーをドライブします。

最も大きな改良点は、全体で 3 つに別れるステージのフロントエンドの入力ステージと電圧ゲインステージになります。X .5 シリーズでは、基本的には各モデル共通のフロントエンドを採用していました。X .8 シリーズでは、各モデルの出力ステージの諸特性に合わせて個別にセッティングされています。フロントエンドにより各モデルの出力ステージのそれぞれ異なったトランスファーカーブに最も適したフィードバックをコントロールしています。これら最適化の調整方法は、まず始めに測定数値による目標とすべき基準を設け、その後 5 つの異なったオーディオシステムにおける膨大なリスニングテストによって最終決定されます。

フロントエンドは、東芝製の Jfet, Mosfet, Bipolar トランジスターによって構成されています。これらの素子は既に生産終了になっていますが、PASS Labs では、X .8 シリーズの為に十分な数量を確保しています。それらの増幅素子のバイアスとドレインを慎重に調整し、出力回路に最も適したロードとフィードバックを選択します。電圧ゲインステージもより大きなバイアス電流、極めて低い歪みレベル、より大きな出力ステージのドライブの為に、ヒートシンクは大型化されています。さらにアンプ回路においては、バイアスレギュレーター回路以外は、キャパシターは使用されていません。これらの結果は、フロントエンドの高安定化、低歪み、低ノイズに結びついています。

X .5 シリーズの電源部は、従来の X .5 シリーズより大型化されており X150.8 にいたっては、ほぼ 3 倍のキャパシター容量になっています。付け加えて電源供給のリップル低減のために新たな CRC フィルターが加わっています。AC プライマリーサーキットには RF フィルターを追加し、伝統の平行のレクティファイアーと大容量のトロイダルトランスを搭載しています。

フロントエンドは、独立した強力な電源部を備えています。このレイアウト構成により、出力ノイズレベルはさらに 10dB 抑えられ、ピーク出力とアベレージノイズフロアとのレンジは、130dB 以上を確保しています。

新しい PASS X .8 シリーズは、広大なダイナミックレンジと、豪快で制御された低域、PASS Labs. 伝統の暖かい中域、そして甘く魅力的な高域をきめ細かな情報量で再現します。

X150.8 製品仕様

- ゲイン：26 dB
- 周波数特性：-3 dB at 1.5 Hz, -2 dB at 100 kHz
- 歪率：1% THD, 定格出力時 1 kHz, 8 Ω
- 定格出力：150W x 150W / 8 Ω
- 入力インピーダンス：100k Ω バランス、50k Ω アンバランス
- ダンピングファクター：150
- 出力ノイズ：200 uV アンウエイ 20-20 kHz
- 消費電力：375 watts
- 外形寸法：48.3 W x 54.0 D x 19.0 H cm
- 重量：40.0 kg
- 価格：1,067,000円(税込) / 970,000円(税抜) ※シルバー
：1,177,000円(税込) / 1,070,000円(税抜) ※ブラック

X350.8 製品仕様

- ゲイン：26 dB
- 周波数特性：-3 dB at 1.5 Hz, -2 dB at 100 kHz
- 歪率：1% THD, 定格出力時 1 kHz, 8 Ω
- 定格出力：350W x 350W / 8 Ω
- 入力インピーダンス：100k Ω バランス、50k Ω アンバランス
- ダンピングファクター：150
- 出力ノイズ：200 uV アンウエイ 20-20 kHz
- 消費電力：550 watts
- 外形寸法：48.3 W x 55.0 D x 28.0 H cm
- 重量：58.0 kg
- 価格：2,420,000円(税込) / 2,200,000円(税抜) ※シルバー
：2,530,000円(税込) / 2,300,000円(税抜) ※ブラック



 株式会社 **エレクトリ**

〒 105-0022 東京都港区海岸2-7-70
 TEL.03-5419-1594 FAX.03-5419-1591
https://www.electori.co.jp/con_top.html

*ここに記載の内容は改良等のため予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。